

平塚市環境基本計画改定に係る市民意識調査実施概要

1 環境基本計画の改定

近年、気候変動対策と生物多様性保全は国際的に議論されている大きな環境問題となっている。気候変動対策では「パリ協定」、生物多様性保全では、「昆明・モントリオール生物多様性枠組」の国際的枠組みに加盟している日本政府は、2030 年までのネイチャーポジティブ（自然再興）と 2050 年までのカーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現を目標に掲げ、気候変動対策においては、2018 年に制定した気候変動適応法により緩和策と適応策の両輪で対策を推進している。本市も国内外の動向に呼応し、「平塚市ゼロカーボンシティ宣言」や「平塚市生物多様性保全アクションプラン」の策定など、取組を進めているところである。

こうした社会的な状況の変化に「SDGs（持続可能な開発目標）」に対する取組の広がりを踏まえ、「平塚市環境基本計画」を改定するものである。

2 各計画の期間

期間は次のとおりとする。それぞれ 2030 年に中間見直しを行う予定。

名称	期間
平塚市環境基本計画	2026年～2035年

3 市民意識調査実施の目的

前述のとおり、現行計画の期間内に環境を取り巻く動向が目まぐるしく変化したことから市民の環境に対する意識やニーズも大きく変化していると推測される。

現行計画策定時（平成 29 年 3 月策定）と現在とで市民・事業者・市民団体の状況や意識にどのような変化があったかの経過を追い、抽出された課題をもとに「行動変容」を促していくための施策やめざすべき環境像を設定するための基礎資料として、アンケート調査を実施する。

4 アンケート調査の詳細

調査対象	発送予定数：2,720件 ・市民：2,500人程度（無作為抽出による市内在住の満16歳以上） ・事業者：200社程度（市内に事業所がある事業者） 交通・運輸、エネルギー、大手製造業を含む市内事業所、漁協、農協等（個人事業主は含まない） ・団体：20団体程度（環境分野に積極的に取り組んでいる団体）
回収見込	・市民：900人程度（うち紙は650程度見込み） ・事業者：100社程度（うち紙は70程度見込み） ・団体：20団体程度（うち紙は14程度見込み） ※令和4年度市民意識調査は3,000件発送のうち1,019件（電子283件、紙736件）
形式(紙)	・別紙のとおり 市民編：A4両面印刷で 6 ページ 選択、一部記述方式 ふりがなあり 事業者編：A4両面印刷で 5 ページ 選択、一部記述方式 ふりがななし 市民団体編：A4両面印刷で 4 ページ 選択、一部記述方式 ふりがななし ・角2形封筒（回収は長3）
形式 (電子)	・e-kanagawa でアンケートフォームを作成する

5 スケジュール

6月26日（水）	「平塚市環境基本計画等改定業務委託公募型プロポーザル」による優先交渉権者決定
6月27日（木）	令和6年度第1回環境審議会
7月上旬	コンサルティング事業者と契約
8月上旬	印刷、封緘
8月下旬	発送
9月下旬	回答締切
11月上旬	事業者から集計及び分析結果の報告書の納品
11月中旬以降	令和6年度第2回環境審議会にて結果を報告